

サスペンションセッティングが今後の課題

イエローのボディカラーに合わせ、エンジンルーム内のパイピングやステアリングもイエローとして美しい仕上がりを見せるガレージ福井SPLのFD3S。現時点においては高度なチューニングが施されているが、サスペンション系のセッティング(特にキャンバー角)がイマイチでタイヤのグリップを引き出せなかったとか。したがってタイム的にはやや遅れをとったが、セッティングが決まれば……。

■BEST LAP: 2' 7" 33

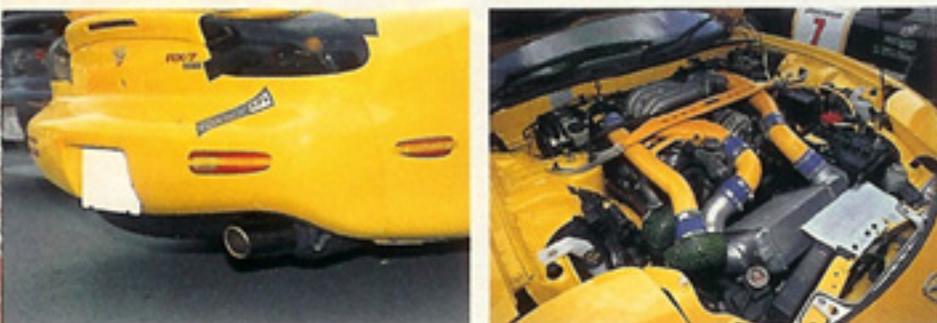


ガレージ福井SPL
☎0776-67-2980
横山代表

シーケンシャルツインターボは確かに扱いやすいシステムだけど、サーキット走行ではいけないと思うね。中低速からツインでパワーを引き出してやった方がいい。サスペンション系はFD3Sよりもずっと良くなっているのだから、きっちりセッティングさえ決まれば、おもしろいクルマに仕上がるはず。今後、各ショップさんの動きを見ながら、ウチなりにFD3Sを仕上げたいと思います。



■DATA—雨宮コンピュータ トラストインタークーラー オリジナル70φマフラー パワーフロー EVC(最大1.0kg/cm²) 雨宮サスペンションキット HKSメタルブレーキパッド



今回、トライアルの呼びかけでT1サーキットにチューンドFD3Sが集まったわけだが、ただ走るだけじゃつまらないってことで模擬レースがスタートしたわけ。ステアリングを握るのは、いつもはクルマを作る側にいる各ショップの代表者だ。セッティングなどで走る機会は多く、ウデの方は心配ない。

第1ヒート、好スタートを切ったのはRE雨宮。これをトライアル、藤田エンジニアリング、HKS関西が追うが、トライアルは6周目にコースアウトしてリタイヤ。そのままRE雨宮が余裕で逃げ切った。

そして第2ヒート。今度はトライアルがトップに立ち、RE雨宮、藤田エンジニアリング、HKS関西、エスプリ、ガレージ福井SPLが追う展開となった。ところがHKS関西が2周目にエンジントラブル、トライアルは調子に乗りすぎて5周目にス

ピンしてコースアウト。またまたRE雨宮がトップでゴールしたのだ。

各ショップのベストラップはこの模擬レースの時のものだ。しかしこのタイムがすべてじゃないよね。各マシンのタイヤもラジアルからレーシングタイヤとさまざま。またサスペンション/ブレーキもT1サーキット用にセッティングされたものじゃない。まあ各代表者がちょっとだけエキサイティングな気分でもT1サーキットを走ったというわけだ。

■第1ヒート

RE雨宮	8ラップ 16' 29" 61
藤田エンジニアリング	8ラップ 16' 54" 84
ガレージ福井SPL	8ラップ 17' 17" 60
HKS関西サービス	6ラップ 13' 37" 42
トライアル	5ラップ 10' 20" 91
エスプリ	—

■第2ヒート

RE雨宮	10ラップ 20' 10" 15
藤田エンジニアリング	10ラップ 20' 49" 86
ガレージ福井SPL	9ラップ 19' 33" 17
トライアル	4ラップ 7' 50" 46
エスプリ	4ラップ 8' 48" 65
HKS関西サービス	1ラップ 2' 06" 59



藤田エンジニアリングは確実な走りでも1・2ヒート共に2位

ハードなサーキットランでFD3Sのウイークポイントが見えてきた

今日T1サーキットでのスポーツ走行において、ストリートでは分からなかったFD3Sのウイークポイントが見えてきたぞ。

まずエンジンルーム内の熱問題。走行を重ねると熱のため過給圧が0.4kg/cm²あたりまでしか上がらない状態となる。この熱による過給圧のタレは他のターボ車にも見られることだが、FD3Sは特にひどい。そしてこの熱にプラスしてインタークーラーの容量が小さいことから、ターボパワーを十分に引き出せないのだ。熱対策およびインタークーラーなどのレイアウトは今後各チューナーを悩ませそう。

次にブローオフバルブ。GT-Rは材質が金属系であるのに対し、FD3Sはプラスチック系だ。また装着されている位置も

タービンに近いので、ハードなスポーツ走行に対応できず破損してしまうのだ。したがってブローオフバルブはアフターメーカーから発売されている高性能タイプに交換した方がいいかも……。

最後にタービン。ノーマルにおいては問題はないが過給圧を任意に上げた場合、セカンダリー側の負担が大きくなりブローすることがある。過給圧は1.0kg/cm²までに抑えていた方が良さそうだ。複雑なシーケンシャルツインターボのチューニングはこれからの課題といえるだろう。

FD3Sはチューニングベースとしては魅力たっぷりのマシンに違いない。今後各ショップのFD3Sは確実にステップアップしていくはずだ。



FD3Sのブローオフバルブはプラスチック系。HKS関西サービスのFD3Sは写真のように破損してしまった